

ハイブリット形式での理事会、加盟団体代表委員総会を開催



↑ 第 93 回理事会

【総務委員長 赤間善浩】

3月13日(日)、塩尻市総合文化センターにおいて、感染症対策としてリモート併用のハイブリット形式による第93回理事会、第22回加盟団体代表委員総会を開催しました。

冒頭、船木会長からは「コロナが落ち着いてきたとはいえ、まだまだ安心できない状況にある。学校の部活は活動の制限を受け、Vリーグも大会・試合の中止等、様々な影響を受けているが、今後は徐々に緩和されていくと思う。東京オリンピックにおいて、バレーボール競技は結果を残すことができなかった。バレーボールは、これからが勝負。県内において、塩尻市・安曇野市に新たな体育館のハード整備ができた。これからは、2028国民スポーツ大会に向けてこのハードを活用し、バレーボールの人気、競技力を向上させたい。併せて、県協会の財務体質も強化したい。」という御挨拶を頂きました。また、

本会の新協会旗が披露され、新しい旗の下で更なる発展を誓い合いました。

議事では、①パラバレーボール委員会の発足に係る細則の改定、②特別委員会（ジュニアクラブプロジェクトチーム）の設置、③令和4年度事業計画（運営基本方針・4地区事業・各委員会事業）、④令和4年度予算について審議を行い、いずれも承認されました。

その後の加盟団体代表委員総会においても、出席委員23名中、7名がリモートでの参加になりましたが、会議は円滑に進行し、理事会承認事項等の報告が行なわれました。

令和4年度 運営基本方針

コロナ禍も3年目に突入し、オミクロン株の出現によって小中高校生の活動により深刻な影響を及ぼす事態となっております。またこの2年間一般カテゴリーの全国・ブロック大会がことごとく中止となる中で、一般競技者の人口減少は、指導者不足・競技役員不足・財政不足・地区協会の活力の低下等々、バレー人気の低迷と相まって県内外のバレー界に大きな影を落とすことが懸念されます。

2028 長野国民スポーツ大会並びに全国障害者スポーツ大会については、本年中央競技団体による会場地視察（7月予定）が実施され、いよいよ具体的な動きが始まります。開催市町・地区連盟・地区協会との連携をより強固なものとし、強化においては当該世代の選手発掘事業をスタートさせると共に、小中高連携による一貫強化体制の構築を急ぎます。またゼロからのスタートとなる知的障がい者チーム発足についても、新たにパラバレー委員会を設置して臨みます。

教員の働き方改革に伴う中学校部活の受け皿づくりも特別委員会（ジュニアクラブプロジェクト）を設置しての各地区でのクラブ発足促進と、併せて当該世代の指導者育成（公認コーチ資格取得促進）、またジュニア世代の競技会の見直しと活性化を図るなど、土俵づくり進めて参ります。

Vリーグは当協会が抱える課題の解消・改善を図るうえで、誠に良質なコンテンツであるにも関わらず、それを活かしていません。単にホームゲーム（HG）のサポートにとどまることなく、普及や強化活動・収益改善・競技役員育成・地域の活性化（県および地区協会・加盟団体イベントとHGのコラボなど）等に繋がられるよう県内関係4チームとの連携を進化（深化）させていきます。

審判員・JVIMSなど競技役員の育成については、既存の資格保有者の掘り起こしと、新たな若手・女性審判員の発掘育成事業を具体化します。

県スポーツ協会のガバナンスコード適合審査では「指導者に対してのコンプライアンス教育不足」が指摘されました。本年度は小中高の全指導者を対象に重点的にコンプライアンス教育を実施します。また併せて公認コーチ資格取得とMR S登録の促進を図って参ります。皆様の絶大なる協力をお願い致します。

重 点 事 業

1. 強化事業

(1) 2028 長野国民スポーツ大会に向けた該当代の選手発掘と一貫指導システムの具体化

(2) 第77回国民体育大会への全種別出場と天皇杯 32.5 点獲得

2. ジュニアクラブ創設促進と同世代指導者の公認コーチ資格取得促進

3. 県内競技会の見直しと拡充

(1) 一般競技人口の維持拡大を目的とする新たな普及大会の実施

(2) ジュニア世代の競技会見直しと拡充 (13 地区対抗戦 U14 の部)

4. 若手・女性競技役員（審判員・JVIMS 判定員）の人材発掘と育成システムの具体化

5. 小・中・高指導者へのコンプライアンス教育実施

6. Vリーグホームゲームのサポートと連携強化による地区協会・加盟団体事業の活性化

7. パラスポーツ強化体制の整備と選手発掘

8. 財務体質改善に向けた増収事業の企画推進



↑ リモート併用によるハイブリット形式



↑ 第 22 回加盟団体代表委員総会

令和 3 年度長野県スポーツ振興功績者表彰

坂田秀男氏が有功章、今井一仁氏が勲功章を受章！

【県協会専務理事 村上里志】

3月23日（水）、長野市ホテル国際 21 において令和 3 年度長野県スポーツ振興功績者表彰の授与式が開催され、当協会からは坂田秀男さん（理事・競技委員長）が「有功章」を、今井一仁さん（東京都市大塩尻高校教諭）が「勲功章」を受賞されました。

「有功章」はスポーツ団体の主要役員として 10 年以上従事し、社会体育振興に貢献した方に授与されるものです。また「勲功章」はオリンピックなど国際大会などで活躍した競技者の育成や、国体・全国大会等で何度も上位入賞するなど、競技の発展に寄与した指導者に授与されるものです。

お二人につきましては、誠におめでとうございます。それぞれの分野におかれまして、今後益々のご活躍をご期待申し上げます。



↑ 今井一仁さん

↑ 坂田秀男さん

ルートインホテルズブリリアントアリース初優勝！ V1へチャレンジ!!

【うへだ協会副会長 島津鉄男】

3月27日(日)上田自然運動公園総合体育館において標記大会を開催しました。上田市をホームとするルートインホテルズブリリアントアリース(以下「ルートイン」)が、第2試合でV2女子3連覇を狙う群馬銀行(以下「群銀」)と初優勝を掛けて対戦しました。

600人を超える観衆の声援に後押しされたルートインは、第1セットこそ失うものの、続く3セットを連取。見事に初優勝の栄冠を勝ち取りました。この結果、優勝のルートインは来季のV1への昇格をかけて4月9日(土)・10日(日)、三重県四日市で開催されるV1へのチャレンジマッチに出場。V1女子最下位のチームと対戦することになっております。

尚、個人賞として、ルートインからは最高殊勲選手賞(MVP)に村山美佳選手(御代田町・長野日大高校出身)、スパイク賞に高橋愛未選手がそれぞれ初選出されました。又、エグゼクティブディレクター兼監督の井上 謙氏が監督賞に輝きました。

【井上監督コメント】

リーグ前半はうまく回らない面もあったが、試合を重ねる毎にチームとして成長し、良い形でファイナルを迎えることが出来、それが結果につながった。チャレンジマッチは自分達の持てる力を精一杯出してチャレンジャーとして望みたい。

【水谷キャプテンコメント】

コロナ禍で大変なリーグの中、V2優勝という目標を大好きな地元上田の地で達成することが叶いました。皆様の応援に少しは恩返しが出来たかと大変嬉しく思います。チャレンジマッチまでの2週間で今シーズンの課題をしっかりと詰めて、昨年叶わなかったV1昇格の目標に向けて全員で戦って行きたいと思います。



↑ 必殺のBクイック



VC長野トライデンツが安曇野市でJTサンダース広島を迎え討つ



【安曇野・東筑協会理事長 森 哲夫】

令和4年1月15日(土)にグランドオープンしたANCアリーナ(安曇野市総合体育館)の竣工記念イベントとして3月5日(土)、VC長野トライデンツのホームゲームがJTサンダース広島を迎えて開催されました。ホームゲームイベントとして太田寛市長の御挨拶、また橋渡勝也教育長による始球式が行われた後、ゲーム開始となりました。

VC長野は1セット目から素晴らしいパフォーマンスを発揮。各セット一進一退の攻防を繰り広げる好ゲームとなりましたが、最後はJTのスパイクなどに押し切られ、セットカウント2-3で敗れました。

翌6日(日)は一転、第1セットからサービスエース、スパイクなどでJTに圧倒され、VC長野は終始後手に回る展開となりました。スパイクなどで応戦するも単発となり、セットカウント0-3のストレート負けとなりました。

尚、1日目のゲーム終了後には、次世代のバレーボーラーを育成するために立ち上げられたNPO法人「VRAVO N+」とVC長野トライデンツとのコラボレーションによる「トークショー」が開催され、元ジェイテクトSTINGS選手の浅野博亮さん、元VC長野トライデンツ選手の山本憲吾さんにより、次代を担うバレーボーラーにメッセージを発しました。

2日間ともに新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、「まん延防止重点措置」が発出されている中でのゲームではありませんでしたが、5日(土)は692人、6日(日)は702人と熱心なファンに会場いただきました。

最後に、VC長野トライデンツの一層の奮闘を期待して、皆さんと共に大きな声援を送りたいと存じます。

2021-22 V.LEAGUE DIVISION3 MEN

3週連続のホームゲーム 長野GaRonsは最後に2連勝で上昇ムードに

【大会副委員長 竹内 護】

1月のVリーグ DIVISION3 須坂大会がチーム関係者の新型コロナウイルス感染などの事由により中止となったために代替試合が組まれ、長野ガロンズにとっては3週連続のホームゲームとなりました。



2月26日(土)・27日(日)は、ガロンズと近畿クラブの一騎打ち2連戦でした。26日の試合では、長野ガロンズ主将の松下が復帰して勝機を伺ったものの、リーグトップの得点力を誇る近畿のブロック陣が効果的に得点を重ね、セットカウント1-3の敗戦。27日も、ブロックでは近畿を凌ぐ16得点を奪うなど奮戦しましたが、ブレイクポイントがつかずに、前日同様1-3の悔しい連敗となってしまいました。

3月5日(土)・6日(日)のホームゲームでは、DIVISION3の4チームが勢揃いして激戦を展開しました。なお、この日の第2試合開始前、近畿クラブ本多主将の発案で、先日ガンとの闘病が発表された東レ藤井選手への激励動画を撮影する一幕もあり、選手間の強い絆を感じさせました。

さて、5日の第1試合、ガロンズはトヨタモビリティ東京スパークルと対戦しました。お互い1セットずつ取り合った後の第3～5セットは、全てデュースに纏れ込む大接戦となりました。最後は18-17から鰐川のブロックでマッチポイントをものにし、ガロンズが2時間20分を越える激闘に勝利。3-2で嬉しいホーム初勝利を挙げました。

6日の大会2日目には、この3週間で唯一のイベントとして始球式も行われ、須坂大会に彩りを加えました。その後の試合では、ガロンズが前週に連敗した近畿クラブをフルセットの末に破り、リーグ戦の行方がさらに興味深いものとなりました。

厳しい環境の中、3週間連続の大会運営をスムーズに開催できるよう協力して下さった関係各位に感謝するとともに、次週リーグ最終戦でのガロンズの活躍を期待したいと思います。

3 月 試 合 結 果

☆ 2021-22 V.LEAGUE Division1 MEN (3/5～6 VC長野 安曇野大会)

<https://www.vleague.jp/form/a/26847>

<https://www.vleague.jp/form/a/26848>

☆ 2021-22 V.LEAGUE Division3 MEN (3/5～6 長野ガロンズ)

<https://www.vleague.jp/form/a/27193>

<https://www.vleague.jp/form/a/27193>

☆ 2021-22 V.LEAGUE Division1 MEN (3/19～20 VC長野 岡谷大会)

<https://www.vleague.jp/form/a/26867>

<https://www.vleague.jp/form/a/26868>

☆ 2021-22 V.LEAGUE Division1 MEN (3/26～27 VC長野 塩尻大会)

<https://www.vleague.jp/form/a/26875>

<https://www.vleague.jp/form/a/26876>

☆ 2021-22 V.LEAGUE Division2 WOMEN V・FINAL STAGE 上田大会 (3/27 ルートインホテルズ)

<https://www.vleague.jp/form/a/27168>

4 月 スケジュール

4/9(土)～10(日) 令和4年度 北信越バレーボール連盟 A級審判員講習会 (大町市)

4/9(土)～10(日) V・チャレンジマッチ～2022-23 V.LEAGUE Division1 MEN 出場決定戦～ (神奈川県)
VC長野 VS ヴォレアス北海道

4/9(土)～10(日) V・チャレンジマッチ～2022-23 V.LEAGUE Division1 WOMEN 出場決定戦～ (三重県)
V1・12位チーム VS ルートインホテルズ

4/16(土) 令和4年度 北信越バレーボール連盟 総会 (富山県)

4/17(日) 第72回中部日本6人制総合男女選手権大会 県予選会(高校の部) (松本市)

4/25(月) 第22回長野県障がい者スポーツ大会に係る競技運営打合せ会議 (WEB)